

令和元年度

区民参画組織 麻布を語る会 第8回麻布地区政策分科会

議 事 要 旨

開催日時	令和元年 12 月 11 日（水） 18:30～20:30
開催場所	麻布地区総合支所 2階 第3会議室
参加者 (敬称略)	【分科会メンバー：22名】 大竹、岡本、鍵谷、加生、片岡、河又、北野、金原、小島、胡、古平、佐々木、塩谷、城川、堂園、橋本、堀山、峯崎、森田、唯是、吉野、吉松 【事務局：3名】 鈴木（協働推進課長）、板橋（地区政策担当係長）、遠藤（協働推進係） 【説明者：4名】 田代（管理係長）、中村（協働推進係長）、吉田（まちづくり課長）、川口（保健福祉係長）
概 要	1 開会 2 提言作成に向けて 3 グループ討議（地域事業の改善提案等のまとめ） 4 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換） 5 その他
配付資料	資料 1 提言作成に向けたスケジュール 資料 2 提言書の構成（案） 資料 3 地域事業活性化シート 参考資料 直近に開催される地域事業など 提出用 【提言書】感想・コメント用シート
副座長	【会議経過】 <b>1 開会</b> ただいまから、第8回区民参画組織麻布を語る会麻布地区政策分科会を開催します。この分科会活動は、記録のため、写真撮影や録音を行います。写真に写りたくない方は事務局へ申し出てください。また、提言書へ掲載するため、グループでの議論の様子なども、皆様の近くで撮影しますのでご承知おきください。
事務局	令和元年5月からスタートした当分科会も、今年度の活動は残り3回、グループにわかれての議論は、本日が最後となりました。毎回お願いしていることですが、全ての発言は挙手、指名を原則とし、議事進行の妨げとなる場合には、発言を制止することもありますのでよろしくお願ひします。 では、事務局から、本日の配布資料の確認をお願いします。 (配布資料の確認)
副座長 事務局	<b>2 提言作成に向けて</b> それでは、事務局から説明をお願いします。 資料1をご覧ください。本日の分科会がグループでの議論の最終回となります。グループ討議の内容は、地域事業活性化シートに反映しまして、来週、12月19日木曜日に皆様へお送りします。お手元に届きましたら内容をご確認いただいて、ご意見等ございましたら、12月25日水曜日までに事務局へメー

ル、ファックス等でご連絡をお願いします。今後、この地域事業活性化シートに基づいて、提言書の素案を作成していきます。

また、提言書に、皆様の分科会活動に対する感想やコメントと顔写真を載せてご紹介したいと、座長、副座長からご提案があり、記入用の様式として「【提言書】感想・コメント用シート」をお配りしました。皆様がこの分科会に参加されて感じたこと等、思いの限りを綴っていただければと思います。文字数に制限はありません。また、この様式を使用せずに、別途Word等のファイルで作成してメールで送っていただくなど、皆様が記入しやすい形を取っていただいてもかまいません。提出していただいた後事務局で編集します。

また、顔写真は、載せることに抵抗がある方もいらっしゃると思いますので、その場合は、愛するペットの写真でもかまいませんし、ご自分のお好きな風景写真、似顔絵やゲームのAvatarなどでもかまいません。SNSのアイコンを選ぶようなイメージで、お気に入りの画像1枚を選んでいただいて、感想・コメントと一緒に、1月10日金曜日までにご提出をお願いします。また、適当な画像がなく、顔写真を撮影して欲しいという方がいらっしゃいましたら、次回1月30日の分科会の際に撮影しますのでお申し出ください。

スケジュールの説明に戻ります。年が明けましたら、提言書の素案を基に、座長・副座長による提言書の編集会議を3回予定しております。3回目となる1月23日木曜日は、各グループのリーダー・サブリーダーの皆様にもお集まりいただき、次回、第9回分科会で皆様にお示しする提言書案の内容確認と最終調整を行う予定です。

次回、皆様がお集まりいただくのは、令和2年1月30日木曜日の第9回分科会となりますのでご承知おきください。

また、3月27日金曜日の提言式の場所と時間が決まりました。場所は港区役所9階の会議室、時間は午後6時30分から午後8時までを予定しております。3年前の提言式と同会場です。日程が近づきましたら改めてご案内しますが、皆様、ご予約いただきますようよろしくお願いいたします。

次に、資料2をご覧ください。前回の分科会で、参考資料として「提言書の目次（案）」を配布しましたが、内容を整理しまして、お配りしたとおりの項目立てで、現在考えております。2ページ目は地域事業の検証結果のページ、3ページ目は、皆様が議論を重ねてきて導きだした提言を掲載するページのイメージ図です。現在、このような体裁で考えておりますが、ご意見ご質問等ございましたら、12月18日水曜日までに事務局にメール・ファックス等でいただければと思います。説明は以上です。

### 3 グループ討議（地域事業の改善提案等のまとめ）

副座長

事務局からの説明について、ご質問、ご意見等がないようでしたら、グループ討議に移ります。各グループでの議論終了時間は20時を目途に、分野Ⅱ、分野Ⅲの皆様は、こちらの会議室へ再度お集まりください。その後、分野ごとに出たご意見等を発表していただいて、最後に全体で議論をしますので、よろしくお願いいたします。

「分野Ⅰ かがやくまち」「分野Ⅱ にぎわうまち」「分野Ⅲ はぐくむまち」の3グループに分かれ討議

#### 4 全体討議（グループ討議の報告及び意見交換）

副座長

それでは、各グループの本日の検討結果を発表していただきます。分野Ⅰから順にお願いします。

A 委員

分野Ⅰは、提言書作成にあたり細かな表現等はリーダーが調整することとし、本日は事業に対しこれだけは言っておきたいという点を再確認しました。

六本木安全安心プロジェクトは、憲章のデザインをもう一度検討すべきではないかということで意見がまとまりました。また、路上喫煙については過料を検討してはどうか、外国人への周知方法について検討が必要ではないかとの意見もありました。

防災関連の事業として現在実施している「地域と事業所」防災連携プロジェクトは、現状のやり方ですとあまり効果が見込めなため廃止し、事業を再構築するということがまとまりました。防災は、誰にとっても非常に重要なことなので、新しく転入してくる方々に対して、防災以外も含む最低限のまちのルールやマナー等を周知することが必要だと考えます。また、地域の連携、警察や消防、町会・自治会等が包括的に連携していける方法を検討する必要もあります。

みんなでエコッとプロジェクトは、「環境・エコ」をテーマに、親子で参加できるワークショップを実施していますが、もっと視野を広げて、まちの課題、例えば六本木地区におけるゴミの課題等もテーマとし、ワークショップを展開、将来的な啓発につなげるのが重要だと思います。提言としては、活動の範囲、テーマを拡大して継続ということになります。

B 委員

分野Ⅱのみんなでまちをよくする「ミナヨク」は、プログラムを再構築しつつ継続するということになりました。主な提案内容は、町会・自治会とのマッチングを意識したプログラムづくりと、この事業によってどのような結果を得たいのか目的を明確にすること等があげられます。また、過去のミナヨク参加者をミナヨク修了生として登録、それぞれ都合はあるとは思いますが、修了後も何らかの形でつながっていくことが重要になると考えています。

AZABU WORLD FESTAで現在実施しているスタンプラリーは、参加店舗が少なく賑わっているようには見えません。スタンプラリーとして継続していくためには、賞品獲得だけではなく「麻布地区の寺社仏閣を全部制覇！」等、達成感が生まれる企画にすることも必要だと思います。また、一度に「食・文化・歴史」を詰め込むのではなく、各年でテーマを絞ってイベントを実施する工夫や、現行のマップは何のお店なのか一目でわからないので、誰にでもわかるよう工夫する必要もあります。また、新たな展開として、マップにスタンプを押すのではなく、SNSへハッシュタグをつけて投稿するとスタンプの代わりになるような仕組みをつくることで、より多くの人に興味を持つようになるのではとの意見もありました。

麻布未来写真館は、これまでも維持継続に向けた意見が出ていますが、パネル展の質をより向上させるためには、展示会場での案内に工夫をしたり、照明に気をつかったりする必要があるという意見がありました。また、パネルの展示だけではなく、会期中にパネルに掲載した写真の解説をするイベントを実施する等、新たな取組をしていくことも望まれます。

C 委員

分野Ⅲの3つの地域事業について、改めて提案を確認しました。

地方交流事業は、広報・周知の点で、もう少し柔らかい印象の事業名称にすることや、年1回夏休みに実施している「サマースクール」だけでなく、

山形県舟形町とのつながりを皆さんにもっと知っていただくよう、1年を通じてイベントを開催することが望まれます。また、舟形町とは包括的な協定を結んでいるということ踏まえて、災害時を意識したつながりをつくっていくことが重要です。また、その他の事業にも共通することですが、記録映像を残していくことも重要です。みなとケーブルテレビと連携・協力することで、より質の高い映像を残していけると思います。また、舟形町に続き、埼玉県小鹿野町との連携も始まっていますが、舟形町との連携強化を主として進めていってもいいのではないかと意見もありました。

ちょこっと立ち寄りカフェは、参加者の満足度が非常に高い事業だと認識しております。今後の提案として、子ども世代とのつながりを促進すること、開催場所をいきいきプラザに限定せず色々な場所で開催すること、また、参加者の情報を分析し、次の展開を検討していくこと等があります。課題としては、ちらしをもう少し見やすくした方がよいという意見がありました。

麻布の魅力探訪事業～あざぶ達人ラボ～は、麻布の歴史等について情報収集することと、色々な形式で発信していく中で、現在は、まち歩きや講座、かるたの作成等を行い、他の事業とも連携しながら事業を実施しています。今後も事業を拡充していくには、異世代との交流、例えば学童クラブへの出前講座を行ったり、夏休みの自由研究の手伝いをする等、世代を超えた広がりのある事業としていくのがいいのではないかと考えています。

副座長

ありがとうございました。6月から分野別のグループに分かれて議論をしてまいりましたが、他分野への意見等も含め、何かご質問はありますか。

いまは特にないようですが、他分野の事業に対してのご提案や、本日までのグループ討議で言い忘れたこと、また、分野を超えて取り組む事業などご意見ご提案がありましたら、提言書に関するご意見ご提案等と同様、12月18日水曜日までに事務局へメール・ファックス等でいただければと思います。我々も共有し、どのように提言書に反映するか検討してまいります。

それでは、事務局から連絡事項等をお願いします。

## 5 その他

事務局

①次回（第9回分科会）の日時及び内容の確認

- ・日時 令和2年1月30日（木）18：30から20：30まで
- ・場所 麻布地区総合支所2階第3会議室
- ・内容：提言書（案）の確認、提言式や提言内容について等

②直近の地域事業等について

- ・参考資料のとおり

副座長

その他、全体を通して、ご意見等がありますか。

D委員

各地域事業について、我々が提言した後は行政がなんとかしてくださいというのではなく、参画と協働の視点から、我々も区民の立場としてどのようにかかわり、取り組んでいくのかということ提言書へ強調して書いていきたいと考えております。

副座長

提言書は、最後まで皆様で議論した結果を精査し、しっかりとまとめあげて提出しようと考えております。今回のD委員のご意見につきましても参考にしながら提言書の作成を進めていきたいと思っております。

最後に座長から一言お願いします。

座長	<p>師走のお忙しい時期に、皆様ご出席いただきましてありがとうございます。4月のプレ分科会から始まり、毎月1回、計9回集まっていただき、本日が2019年の最後の分科会となります。私がこの分科会に関わって7年、毎回この時期になると、出席者が多くても15名程度と減ってしまいますが、今年度は、昨年度から継続している委員が15名、今年度から新たに参加された委員が19名、計34名のメンバーのうち、毎回20名以上が出席しています。これまでは、興味関心が薄れ途中でやめていく方が多かった中、引き続きご出席いただいていることに心から感謝申し上げます。</p>
まちづくり課長	<p>また、6月から本日まで全7回、我々のグループ討議の説明員として、川口淳区民課保健福祉係長、田代隆美管理課管理係長、吉田誠まちづくり課長、中村篤史協働推進課協働推進係長にご協力をいただきましたことにつきましても、分科会を代表して感謝申し上げます。本日で最後となりますので、代表して吉田まちづくり課長から一言ご挨拶をお願いします。</p> <p>貴重なご意見をたくさんいただきましてありがとうございました。グループでの検討に参加して、メンバーの皆様が、港区の事情、麻布の事情をよくご存じでいらっしゃる、少しでも麻布のまちを良くしたいと考えていらっしゃることを重々感じました。今後、区へいただく提言につきましても、しっかりと受け止めていかなければならないと、気持ちを新たにしました次第でございます。これまでどうもありがとうございました。</p>
座長	<p>先程のご意見にもありましたが、我々が一方的に何かを要求するだけではなく、区からもフィードバックをもらって、双方向に活動していくことが、この区民参画組織の目的でもあります。今回お世話になった4名のお顔を覚えておいていただき、今後も支所に足を運んでいただき、麻布のまちをよりよくするための相談ごとなど、やり取りをされるとよいと思います。ありがとうございました。</p>
副座長	<p>それでは、これをもちまして令和元年度第8回麻布地区政策分科会を終了します。皆様ありがとうございました。良いお年をお迎えください。</p>
	以上